



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 株式会社ソフトクリエイトホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3371 URL <https://www.softcreate-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 林 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐藤 淳 TEL 03-3486-0606
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	15,171	9.5	2,615	△2.8	2,756	△3.4	1,768	6.9
2024年3月期中間期	13,852	19.9	2,691	33.1	2,852	33.4	1,654	31.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,006百万円 (△13.2%) 2024年3月期中間期 2,311百万円 (70.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	70.53	69.88
2024年3月期中間期	66.02	65.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	32,646	22,968	60.3
2024年3月期	31,298	21,651	59.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 19,669百万円 2024年3月期 18,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年3月期	—	27.50	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.5	5,480	6.0	5,680	6.1	3,450	5.9	137.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	27,550,278株	2024年3月期	27,550,278株
2025年3月期中間期	2,544,977株	2024年3月期	2,459,877株
2025年3月期中間期	25,079,135株	2024年3月期中間期	25,059,673株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、企業収益の改善とともに雇用・所得情勢は底堅く、個人消費も持ち直すなど緩やかな景気回復が継続しました。また、大手企業を中心とした投資意欲が旺盛であるほか、インバウンド需要回復などの前向きな動きはあるものの、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇及び日本銀行の金融緩和政策の見直しに対する警戒感、中国経済の先行き懸念や長期化するウクライナ情勢と中東情勢の不安定化に伴い、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するIT業界は、企業のECサイト構築需要の高まりや、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA等のDX推進など、企業等の事業拡大や競争力強化に向けた戦略的なIT投資は活発化しております。

このような状況の中で、当社グループは国内市場シェアNo. 1のECサイト構築プラットフォーム「ecbeing」の提供やECサイトの売上拡大のための施策となるクラウドサービス(SaaS型)の提供を推進してまいりました。そのほか、生成AI市場の世界的な需要急拡大を背景として当社独自で開発した企業向け生成AIサービス「Safe AI Gateway」の提供や、企業のデジタル変革推進への取り組みに関連した企業内情報システムサービス「SCクラウド」、「X-pointクラウド」の提供を推進するなど、ECソリューション事業及びITソリューション事業の売上拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は151億71百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は26億15百万円(同2.8%減)、経常利益は27億56百万円(同3.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は17億68百万円(同6.9%増)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの業績の概要は、次のとおりであります。

(ECソリューション事業)

国内市場シェアNo. 1のECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売及びECクラウドサービス「メルカート」の提供や、ECサイトの売上拡大施策となるビジュアルマーケティング「visumo」、レビュー最適化ツール「ReviCo」、オムニチャネル分析ツール「Sechstant」等のクラウドサービス(SaaS型)を提供し、トータルのECソリューションを提供しております。

ECソリューション事業は、ECサイト構築売上高が伸長したことや、ECサイトの売上拡大施策となるクラウドサービス売上高が伸長したこと等により、売上高は81億49百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益は19億47百万円(同8.8%減)となりました。

(ITソリューション事業)

当社グループの独自サービスである「SCクラウド」、ワークフローサービス「X-pointクラウド」等のクラウドサービス(SaaS型)の提供をしております。そのほか、セキュリティ・インフラ構築や当社グループが独自で開発したプロダクト製品「AgileWorks」、「L2Blocker」を販売しております。

ITソリューション事業は、クラウドサービス売上高が伸長したことや、セキュリティ・インフラ構築売上高の伸長により、売上高は70億21百万円(前年同期比14.3%増)、セグメント利益は14億10百万円(同9.3%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産の変動について)

当中間連結会計期間末の資産合計は326億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億47百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が3億33百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が2億49百万円、流動資産のその他に含まれる預け金が4億26百万円、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが2億93百万円、増加したこと等によるものであります。

(負債の変動について)

当中間連結会計期間末の負債合計は96億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円の増加となりました。これは、主に買掛金が30百万円、未払法人税等が35百万円減少したものの、契約負債が2億43百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産の変動について)

当中間連結会計期間末の純資産合計は229億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億16百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が11億66百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績は、計画どおりに推移しており、2024年5月9日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,509,151	13,842,555
受取手形、売掛金及び契約資産	5,512,658	5,762,231
電子記録債権	266,801	134,454
有価証券	184	178
商品	259,562	187,021
その他	1,005,695	1,531,171
貸倒引当金	△3,534	△3,164
流動資産合計	20,550,519	21,454,447
固定資産		
有形固定資産	262,422	268,989
無形固定資産		
のれん	—	128,835
その他	1,960,183	2,226,389
無形固定資産合計	1,960,183	2,355,224
投資その他の資産		
投資有価証券	7,034,123	7,087,641
その他	1,498,797	1,487,743
貸倒引当金	△7,774	△7,774
投資その他の資産合計	8,525,146	8,567,610
固定資産合計	10,747,753	11,191,824
資産合計	31,298,272	32,646,272
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,916,940	1,886,333
契約負債	1,671,404	1,914,855
未払法人税等	1,012,193	976,455
賞与引当金	676,464	791,835
その他	2,104,741	1,804,135
流動負債合計	7,381,743	7,373,615
固定負債		
役員退職慰労引当金	801,801	834,551
退職給付に係る負債	926,970	933,355
資産除去債務	67,937	68,045
その他	468,053	468,005
固定負債合計	2,264,762	2,303,957
負債合計	9,646,505	9,677,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,101	854,101
資本剰余金	1,932,036	1,941,742
利益剰余金	16,533,240	17,699,797
自己株式	△3,068,372	△3,191,775
株主資本合計	16,251,006	17,303,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,199,587	2,237,999
退職給付に係る調整累計額	153,687	128,124
その他の包括利益累計額合計	2,353,274	2,366,123
新株予約権	441,967	508,031
非支配株主持分	2,605,518	2,790,677
純資産合計	21,651,767	22,968,698
負債純資産合計	31,298,272	32,646,272

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,852,826	15,171,011
売上原価	7,833,324	8,930,351
売上総利益	6,019,501	6,240,659
販売費及び一般管理費	3,328,357	3,624,939
営業利益	2,691,144	2,615,720
営業外収益		
受取利息	132	726
受取配当金	46,917	49,746
為替差益	153	—
持分法による投資利益	104,533	63,698
その他	10,949	29,002
営業外収益合計	162,686	143,173
営業外費用		
自己株式取得費用	—	499
為替差損	—	146
貸倒損失	106	—
和解金	972	—
損害補償金	—	1,259
その他	486	522
営業外費用合計	1,565	2,428
経常利益	2,852,266	2,756,466
特別利益		
固定資産売却益	18	—
保険解約返戻金	—	24,287
投資有価証券売却益	—	112,689
新株予約権戻入益	628	754
特別利益合計	646	137,731
特別損失		
固定資産除却損	1,418	—
投資有価証券売却損	—	139
特別損失合計	1,418	139
税金等調整前中間純利益	2,851,495	2,894,058
法人税、住民税及び事業税	992,216	914,401
法人税等調整額	△62,040	△14,933
法人税等合計	930,175	899,467
中間純利益	1,921,319	1,994,590
非支配株主に帰属する中間純利益	266,869	225,863
親会社株主に帰属する中間純利益	1,654,449	1,768,726

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,921,319	1,994,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411,720	38,284
退職給付に係る調整額	△21,734	△26,702
持分法適用会社に対する持分相当額	—	127
その他の包括利益合計	389,986	11,709
中間包括利益	2,311,306	2,006,300
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,045,415	1,781,575
非支配株主に係る中間包括利益	265,890	224,724

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,851,495	2,894,058
減価償却費	418,142	545,009
のれん償却額	—	14,315
株式報酬費用	151,808	159,572
貸倒損失	106	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,762	△370
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,680	115,371
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,642	△32,095
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33,150	32,750
受取利息及び受取配当金	△47,049	△50,473
自己株式取得費用	—	499
有形固定資産売却損益(△は益)	△18	—
固定資産除却損	1,418	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△112,550
為替差損益(△は益)	△153	146
持分法による投資損益(△は益)	△104,533	△63,698
新株予約権戻入益	△628	△754
保険解約返戻金	—	△24,287
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△257,479	38,450
棚卸資産の増減額(△は増加)	146,069	72,279
前払費用の増減額(△は増加)	46,942	11,433
仕入債務の増減額(△は減少)	△98,229	△31,072
契約負債の増減額(△は減少)	155,355	225,522
未払金の増減額(△は減少)	79,847	△157,128
その他	127,502	△289,454
小計	3,592,830	3,347,525
利息及び配当金の受取額	48,028	51,411
法人税等の支払額	△690,673	△949,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,950,186	2,449,271

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	3,621	—
有形固定資産の取得による支出	△17,604	△45,374
無形固定資産の取得による支出	△585,585	△771,360
有形固定資産の売却による収入	20	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△99,185
投資有価証券の売却による収入	—	176,963
会員権の取得による支出	△250	—
貸付けによる支出	△7,614	△9,100
貸付金の回収による収入	2,414	4,798
敷金及び保証金の差入による支出	△739	△143,253
敷金及び保証金の回収による収入	—	81
保険積立金の積立による支出	△1,065	△944
保険積立金の解約による収入	—	29,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△606,803	△858,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△11,836	—
ストックオプションの行使による収入	—	12,906
自己株式の取得による支出	—	△137,337
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増 加)	—	△426,470
配当金の支払額	△312,192	△600,753
非支配株主への配当金の支払額	△43,766	△106,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367,794	△1,257,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,975,588	333,397
現金及び現金同等物の期首残高	9,425,612	13,509,336
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,401,200	13,842,734

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表及び連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ECソリューション 事業	ITソリューション 事業			
売上高					
一時点で移転される財	363,939	1,791,508	2,155,447	—	2,155,447
一定の期間にわたり移転 される財	7,347,688	4,349,690	11,697,379	—	11,697,379
顧客との契約から生じる 収益	7,711,628	6,141,198	13,852,826	—	13,852,826
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,711,628	6,141,198	13,852,826	—	13,852,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,035	90,451	96,487	△96,487	—
計	7,717,663	6,231,650	13,949,314	△96,487	13,852,826
セグメント利益	2,135,386	1,290,274	3,425,660	△573,394	2,852,266

(注) 1 セグメント利益の調整額△573,394千円は、セグメント間取引△56,771千円、その他調整額△8,768千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△507,854千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ECソリューション 事業	ITソリューション 事業			
売上高					
一時点で移転される財	372,686	1,932,002	2,304,689	—	2,304,689
一定の期間にわたり移転 される財	7,776,554	4,922,118	12,698,673	—	12,698,673
顧客との契約から生じる 収益	8,149,240	6,854,121	15,003,362	—	15,003,362
その他の収益(注) 3	—	167,648	167,648	—	167,648
外部顧客への売上高	8,149,240	7,021,770	15,171,011	—	15,171,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,585	567,644	572,229	△572,229	—
計	8,153,826	7,589,414	15,743,240	△572,229	15,171,011
セグメント利益	1,947,944	1,410,724	3,358,668	△602,202	2,756,466

(注) 1 セグメント利益の調整額△602,202千円は、セグメント間取引△55,221千円、その他調整額△3,487千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△543,492千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ITソリューション事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間より、システムワークスジャパン株式会社の株式の取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの発生額は143,150千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年8月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元水準の向上を図るとともに、経営環境の変化に応じて機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得の内容

(1) 取得する株式の種類 当社普通株式

(2) 取得する株式の総数 300,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.20%)

- (3) 株式の取得価額の総額 500,000,000円(上限)
- (4) 取得する期間 2024年8月6日～2024年10月31日

3. 取得結果

- (1) 取得した株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数 86,700株
- (3) 株式の取得価額の総額 147,337,900円
- (4) 取得した期間 2024年8月6日～2024年9月30日
- (5) 取得の方法 東京証券取引所における市場買付け